

令和6年度第1回国立大学法人鹿屋体育大学学長選考・監察会議議事要旨

日 時 令和6年10月31日(木) 10:45～11:15

場 所 大会議室(web 同時開催)

出席者 森岡議長、上治、小川、宮嶋、前田、猪村、印南、北村、田巻、竹中の各委員

欠席者 中西委員、藤本委員

陪席者 武隈監事、小林監事

議 題

(質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。)

1. 議長の選出

委員の互選により、森岡委員が議長に選出された。

また、森岡議長から、議長に事故があるときの職務代理者については、上治委員にお願いしたいとの発言があり、了承された。

2. 前回議事要旨確認

原案のとおり確認された。

3. 審議事項

(1) 学長の業務執行状況の確認について

事務局から資料 3-1～3-3 に基づき説明があった後、森岡議長から諮られ、審議の結果、学長の業務は適切に執行されていると判断することが決定された。加えて、資料 3-3 の報告書の特記事項には、今後期待することとして、ダイバーシティ&インクルージョンの推進を盛り込み、その中では留学生の受け入れ強化やアジアのスポーツ振興を含めて記載することが了承された。また、資料 3-4 のとおり、令和 7 年度についても令和 6 年度と同様に業務執行状況の確認を行うことが了承された。

学長の業務執行状況確認に関連し、中期計画の評価指標について以下のとおり意見があった。

- ：第4期中期計画【2】の評価指標にある、就職先企業からの満足度を測るという指標に疑問がある。企業の基準に合わせるよりも、学生が自分の能力を伸ばせる環境を提供することが重要ではないか。
- ：第4期中期計画や評価指標の策定時は、社会の要請に応えることが重要視されており、企業満足度調査はこれまで本学が実施したことがなかったため評価指標として設定した。第5期では改善を検討するのも一案であるとする。
- ：企業側の採用経験から補足すると、これまでの大学卒業生の傾向を、採用選考の参考にすることはよくあることで、企業と大学とのコミュニケーションは現在でも活発に行われている実態がある。

4. 報告事項

(1) 次期学長選考のスケジュール等について

事務局から資料 4-1 及び 4-2 に基づき、次期学長選考に向け、次回会議から、課題の洗い出しや検討をはじめの旨説明があった。

以上